

発達障がい児と保護者に寄り添い 自立に向けた支援を行うための研修事業

特定非営利活動法人 秋田たすけあいネットあゆむ

〒010-0956 秋田県秋田市山王臨海町 4 番 6 号 103 号

助成事業の概要

不登校やこどもの居場所事業、フリースクールを開所していますが、不登校児童生徒の 7 割に発達障がいが見られることから、発達障がいの児童生徒が利用出来る放課後等デイサービスを開所しました。学校が終わってから利用出来る放課後等デイサービスと、不登校のこどもが朝から利用出来る放課後等デイサービスを開所しています。障がいはこどもひとり一人違い、療育に力を入れています。先進的な取り組みをしている北海道札幌の「むぎのこ」学園の視察研修を切望していました。この度採択を受け、6 月 23 日から 25 日まで研修に行くことができ、普段の療育のヒントをたくさん学ぶ事ができました。視察の他にもスタッフのスキルアップのための研修も企画することができ、7 月、8 月、9 月と 3 回計画し、こどもの人権、子育てなどの研修を受けることができました。

事業の成果

不登校児童生徒支援と発達障がい児童の放課後等デイサービス事業において、北海道札幌の「むぎのこ」学園への視察研修およびスタッフ研修の実施は、非常に価値のある取り組みとなりました。まず、6 月 23 日から 25 日にかけて実施された「むぎのこ」学園視察研修により、先進的な療育の実践例や具体的な支援方法を直接学ぶことができました。多様な発達障がいを持つ子どもたちに対し、一人ひとりの特性に配慮した柔軟な支援体制や環

境整備の重要性を改めて認識し、日々の療育活動に活かすヒントを多数得ました。特に、個別のニーズに応じたプログラム作成や、子どもの自主性を尊重する関わり方など、実践的な学びは自事業の質的向上に直結しています。

さらに、7 月から 9 月にかけて実施されたスタッフ向けの研修は、こどもの人権尊重や子育て支援の観点から重要なテーマが選ばれ、専門知識の深化と意識の共有を促進しました。これにより、スタッフ全体の理解と技能が向上し、療育の現場での対応力やチームワーク強化に寄与しています。また、継続的なスキルアップ研修の仕組みづくりは、組織としての成長と持続可能なサービス提供体制の基盤づくりにおいても大きな意味を持っています。

本研修を通じ、子どもたち一人ひとりの発達特性に寄り添ったより質の高い療育サービスの提供が可能となり、不登校や発達障がいの子どもの安心できる居場所づくりと支援体制の強化に繋がっています。今後も「むぎのこ」学園で得た知見やスタッフ研修の成果を基盤に、地域に根差した多様なニーズに応える柔軟かつ持続的な支援モデルの確立を目指していきます。

以上のように、視察研修とスタッフ研修の実施は、療育の現場力向上、スタッフの専門性深化、そして子どもたちの生活・成長環境の質的改善に大きく貢献し、事業の成果として明確に現れています。

成果の広報、公表

本事業の成果は、関係者への周知と共有を目的と

して、複数の方法で広報・公表を行いました。まず、視察研修およびスタッフ研修の様子や学びの内容を、写真や感想とともに SNS で発信し、保護者に向けて活動の透明性と意義を伝えました。特に療育の工夫や子どもたちの変化については多くの反響があり、共感と支援の輪が広がりました。また、法人内では報告会を開催し、スタッフ間で成果と課題を共有。研修で得た知見を活かした支援方法の改善案を話し合い、今後の事業展開に反映させる機会となりました。これらの広報活動を通じて、事業の社会的意義と継続的な取り組みへの理解促進を図りました。

■ 今後の展開

今後は、今回の視察研修やスタッフ研修で得た知見を活かし、療育の質をさらに高めるとともに、地域に根差した支援体制の強化を図ります。発達障がいのある不登校児童生徒が安心して通える居場所づくりを進め、個別支援計画の充実や保護者との連携強化に取り組めます。また、スタッフの専門性向上を目的とした定期的な研修を継続し、支援の質とチーム力の向上を目指します。地域の学校や福祉機関との連携も深め、制度の狭間にいる子どもたちへの支援を広げるとともに、事業の成果を広く発信し、理解と協力の輪を広げていきます。将来的には、地域全体で子どもを支えるモデルの構築を目指し、持続可能な支援の仕組みづくりに取り組めます。